

2025
ズバリ! 的中



世界史

慶應義塾大学

宋の統治体制について

300字以内で述べさせる問題が的中

入試問題

2月16日実施 法学部
問題IV

問題 IV

中国の歴代王朝は地方統治をめぐる試行錯誤を繰り返してきた。例えば、周では封建制、秦では郡県制、前漢では郡国制、隋や唐では州県制が施行された。とりわけ宋（北宋）は中央集権的な中央・地方関係に基づく統治体制（以下、「本体制」という）を構築したことで知られている。

以上を踏まえて、本体制を導入するに至った背景、本体制を支えた仕組みおよびそれにともなう問題、本体制の構築によって北宋の地方統治にもたらされた唐末からの変化、ならびに対外関係への影響について、300字以内で記述しなさい。解答は記述式解答用紙の所定の欄に記入すること。

河合塾

大学受験科 基礎シリーズ
完全習得タイム世界史
第9講 [6]

[6] 宋代以降の中国において、様々な分野で指導的な役割を果たすようになるのは士大夫と呼ばれる社会層である。彼らはいかなる点で新しい存在であったのか。これについて、彼らを生み出すにいたった新しい土地制度と、彼らが担うことになる新しい学術にも必ず言及し、これらをそれ以前のものに対比しつつ300字以内で述べよ。